

## 評価項目・評価基準

### 1. 評価項目別評価

総合評価に先立って行う評価項目別評価（事前・中間・事後・追跡）の評価基準は次のとおり。

#### (1) 事前評価

評価項目	評価の視点	評価基準
ア 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会経済情勢及び県民、地域産業等におけるニーズを踏まえ、試験研究を実施する必要性があるか。</li> <li>○現時点(翌年度)において試験研究に取り組む必要性があるか。</li> <li>○試験研究の方向性や内容が、社会的・倫理的妥当性を欠いたものになっていないか。</li> <li>○国、民間等の他の試験研究機関において、類似の研究に取り組んでいないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて高い(5点)</li> <li>B：高い(4点)</li> <li>C：概ね認められる(3点)</li> <li>D：余り認められない(2点)</li> <li>E：認められない(1点)</li> </ul>
イ 新規性・独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験研究の内容が、新しい発想に基づいたものであるか、又は新しい分野に関するものであるか。</li> <li>○試験研究が、新しい視点で既存技術を応用し、組み合わせ、又は改良するものであるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて大きい(5点)</li> <li>B：大きい(4点)</li> <li>C：概ね認められる(3点)</li> <li>D：余り認められない(2点)</li> <li>E：認められない(1点)</li> </ul>
ウ 目標設定の妥当性・達成の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標が具体的かつ明確であるか。</li> <li>○目標設定水準が妥当であるか。</li> <li>○目標の達成が可能であるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて高い(5点)</li> <li>B：高い(4点)</li> <li>C：概ね認められる(3点)</li> <li>D：余り認められない(2点)</li> <li>E：認められない(1点)</li> </ul>
エ 試験研究計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体のスケジュールが妥当であるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて妥当(5点)</li> <li>B：妥当(4点)</li> <li>C：概ね妥当(3点)</li> <li>D：余り妥当でない(2点)</li> <li>E：不相当(1点)</li> </ul>
オ 試験研究成果の波及効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験研究により得られる成果が、県民、地域産業等への貢献や行政施策につながる波及効果を期待できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：大いに期待できる(5点)</li> <li>B：期待できる(4点)</li> <li>C：概ね期待できる(3点)</li> <li>D：余り期待できない(2点)</li> <li>E：期待できない(1点)</li> </ul>
カ 実施体制の妥当性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究人員、研究予算、機器・設備等の配分が妥当かつ効率的であるか。</li> <li>○共同研究においては、研究の役割及び分担が妥当であるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて妥当かつ効率的(5点)</li> <li>B：妥当かつ効率的(4点)</li> <li>C：概ね適当(3点)</li> <li>D：やや不相当(2点)</li> <li>E：不相当(1点)</li> </ul>

(2) 中間評価

評価項目	評価の視点	評価基準
ア 試験研究の進捗状況	○試験研究は、当初の見込み（研究計画を見直した場合は、見直し後の見込み）どおり進んでいるか。	A：予定どおり（5点） B：ほぼ予定どおり（4点） C：多少の遅れはあるが、概ね妥当（3点） D：かなり遅れている（2点） E：進んでいない（1点）
イ 目標達成の可能性	○当初の予定（見直した場合は、見直し後の予定）どおり、目標の達成が可能であるか。	A：可能性が極めて高い（5点） B：可能性が高い（4点） C：可能性あり（3点） D：可能性が低い（2点） E：不可能に近い（1点）
ウ 社会経済情勢及び県民、地域産業等のニーズの変化への適合性	○一定期間の経過に伴い、現時点の社会経済情勢及び県民、地域産業等のニーズに、試験研究の内容、手法及び目標が対応したものにしているか。	A：対応済み（5点） B：ほぼ対応済み（4点） C：多少未対応の部分はあるが、概ね妥当（3点） D：対応不十分（2点） E：未対応（1点）
エ 試験研究計画及び実施体制の妥当性・効率性	○試験研究の進捗状況からみて、当初（試験研究計画を見直した場合は、見直し後）の試験研究計画が妥当であるか。 ○当初の予定（研究計画を見直した場合は、見直し後の予定）どおり、研究人員、研究予算、機器・設備等の配分が妥当かつ効率的であるか。 ○共同研究においては、当初の予定（研究計画を見直した場合は、見直し後の予定）どおり、研究の役割・分担が妥当であるか。	A：極めて妥当かつ効率的（5点） B：妥当かつ効率的（4点） C：多少問題点はあるが、概ね妥当（3点） D：やや不相当（2点） E：不相当（1点）

### (3) 事後評価

評価項目	評価の視点	評価基準
ア 目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当初の予定(見直した場合は、見直し後の予定)どおり、目標が達成されているか。</li> <li>○目標設定水準は、妥当であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて高い(5点)</li> <li>B：高い(4点)</li> <li>C：多少未達成点はあるが、概ね妥当(3点)</li> <li>D：やや不十分(2点)</li> <li>E：不十分(1点)</li> </ul>
イ 試験研究計画及び実施体制の妥当性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験研究計画は、当初の予定(研究計画を見直した場合は、見直し後の予定)どおり実施できたか。</li> <li>○研究人員、研究予算、機器・設備等の配分は、妥当かつ効率的であったか。</li> <li>○共同研究においては、研究の役割及び分担が妥当であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて妥当かつ効率的(5点)</li> <li>B：妥当かつ効率的(4点)</li> <li>C：多少問題点はあったが、概ね適当(3点)</li> <li>D：やや不適当(2点)</li> <li>E：不適当(1点)</li> </ul>
ウ 試験研究成果の有益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従来困難であったことを可能にする研究成果が得られたか。</li> <li>○既存技術と比較し、時間、コスト、精度、品質等を改善する研究成果が得られたか。</li> <li>○当該試験研究により、本県で活用可能な新たな技術が開発されたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：極めて高い(5点)</li> <li>B：高い(4点)</li> <li>C：概ね認められる(3点)</li> <li>D：余り認められない(2点)</li> <li>E：認められない(1点)</li> </ul>
エ 試験研究成果の波及効果及び取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試験研究成果が、県民、地域産業等への貢献につながる波及効果を期待できるか。</li> <li>○試験研究成果が、他の試験研究等へ活用若しくは応用され、又は行政施策等へ反映されることが期待できるか。</li> <li>○試験研究成果に関する論文、報告書等が適正に作成されているか、成果発表は適正に実施されているか、特許取得等は適正になされているか又は取得の可能性はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：大いに期待できる(5点)</li> <li>B：期待できる(4点)</li> <li>C：多少期待できる(3点)</li> <li>D：余り期待できない(2点)</li> <li>E：期待できない(1点)</li> </ul>

#### (4) 追跡評価

評価項目	評価の視点	評価基準
ア 試験研究成果の波及効果及び発展性	○試験研究成果が、県民、地域産業等にどのように貢献し、どの程度経済的な効果等が得られているか。 ○試験研究成果が、他の試験研究等に活用若しくは応用され、又は行政施策等へ反映されているか。	A：大いに効果等あり（5点） B：効果等あり（4点） C：多少の効果等は認められる（3点） D：余り効果等なし（2点） E：効果等なし（1点）
イ 試験研究成果の取扱い状況	○試験研究成果に関する論文、報告書等が適正に作成されているか、成果発表は適正に実施されているか、特許取得等は適正になされているか。	A：大いに評価できる（5点） B：評価できる（4点） C：多少問題点はあるが、概ね評価できる（3点） D：余り評価できない（2点） E：評価できない（1点）

#### 2. 総合評価

各評価項目の点数及び全評価項目合計点並びに試験研究の背景、内容、効果等を総合的に勘案して行う総合評価の評価基準は、次のとおり。

評価の種類	評価基準
事前評価	A：試験研究課題を採択 B：試験研究課題の内容を一部変更して採択 C：試験研究課題を不採択
中間評価	A：試験研究課題を継続 B：試験研究課題の内容を一部変更して継続 C：試験研究課題を中止
事後評価	A：計画どおり又はそれ以上の成果を得た B：計画に近い成果を得た C：成果を得られなかった
追跡評価	A：成果の活用等が見られる B：今後成果の活用等が期待できる C：成果の活用等が期待できない